



公開ヒアリング実施状況

1-2 外国人との共生の地域づくりと外国人児童の学習支援（多文化共生・国際課）

区分	内容
基本方針	1 市民等の公益的な地域活動の推進
重点推進項目	② 地域団体等との協働事業の推進
取組項目	<p>1. 日本人と外国人が共生する地域づくりを目指し、地域団体等と多文化共生モデル地区事業を実施 （効果目標等：外国人の自治会活動等の参加率 現状(H21)29.1% 目標(H25)50.0%）</p> <p>2. 外国人児童の日本語の学習支援として、地域団体等とプレスクール事業やアフタースクール事業を実施 （効果目標等：子どもの学習環境の充実）</p>
各委員のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市の支援活動を拡充することが求められている。また、自治会加入には経済的な理由も関係するので、外国人の就労支援に注力すべきである。 ○ 親の経済状況が子供に与える影響は大きいので、就労支援の充実は大切である。また、コミュニティへの積極的な参加について、外国人の中にリーダーを創る施策も必要である。ボランティア活動等に大学生の参加を促進してはどうか。教職課程に学ぶ学生にとっても勉強になると思うので、活用の道はあると思う。 ○ 顔の見える関係は重要である。個人相互が親しくなることが第一なので、今後も発展させて欲しい。 ○ 日本人は井の中の蛙になりがちである。豊橋市に外国人が多く暮らしているのは、「市の強み」なので、国際交流ができる若者を育てて欲しい。また、ブラジルの方の中にリーダーを育てる施策が重要だと思うので、NPO 法人をはじめ学生ボランティアの活用等、潜在的な能力を活かしてほしい。就労支援については、外国人の生活保護問題もあり、日本が抱える問題の縮図といえるので、期待したい。
市民意見	<p>豊橋は外国人が多く住む団地もあり、外国籍市民との共生について地域の中で話し合っている。今後も市の尽力をお願いしたい。</p>